

令和元年度 第9回 辻堂まちづくり会議 次 第

日 時：2019年12月19日（木）13：30～

会 場：辻堂市民センター 第1 談話室

- ◎ 前回会議の議事録の確認について
- ◎ 自歩道愛称募集結果について
- ◎ 出張公民館について（別紙）
- ◎ 「郷土づくり推進会議」の運用の手引き（案）について

議 題

- 1 辻堂地区全体集会の実施結果について
- 2 部会等からの報告について
広報委員会（12/5）、くらし安心・安全部会（12/5）、
辻堂交流部会（12/12）
- 3 次期の辻堂まちづくり会議について
（1）辻堂地区郷土づくり推進会運営要領の一部改正について
（2）委員選考委員会、公募委員募集及び公募委員選考に関する要領
について
- 4 その他
（1） みんなで美化キャンペーン
ポケットパーク 12月21日（土） 8時45分集合
（2） 子どもの見守りについての情報交換会
12月26日（木）10時 辻堂市民センター

今後の予定

○第10回辻堂まちづくり会議	1月23日（木）13時30分から
○広報委員会	1月16日（木） 9時30分から
○くらし安心・安全部会	1月16日（木）13時30分から
○辻堂交流部会	1月16日（木）14時00分から
	以 上

2019年度 辻堂まちづくり会議 委員名簿

No.	区分	氏名（敬称略）	団体名又は公募	役職	部会	広報委員会
1	団体推薦委員	松本 喜夫	自治会長・町内会長連絡協議会		くらし安心・安全	○
2	団体推薦委員	山田 泰司	社会福祉協議会		くらし安心・安全	
3	団体推薦委員	齋間 道雄	青少年育成協力会		くらし安心・安全	
4	団体推薦委員	高橋 肇	交通安全対策協議会		くらし安心・安全	
5	団体推薦委員	吉田 紀行	生活環境協議会		辻堂交流	
6	団体推薦委員	石井 喜孝	防犯協会	部会長	くらし安心・安全	
7	団体推薦委員	小川 雄二郎	防災協議会	副会長	くらし安心・安全	
8	団体推薦委員	近藤 眞由美	東地区民生委員児童委員協議会		くらし安心・安全	
9	団体推薦委員	國弘 信子	西地区民生委員児童委員協議会	副会長	くらし安心・安全	
10	団体推薦委員	伊藤 和子	辻堂公民館評議員会		くらし安心・安全	○
11	団体推薦委員	鷹野 三枝子	高浜地域子ども支援会議		くらし安心・安全	○
12	団体推薦委員	岸 喜代志	辻堂地区社会体育振興協議会		くらし安心・安全	
13	団体推薦委員	小林 準一郎	辻堂商店会連合会		辻堂交流	
14	団体推薦委員	片桐 賢	辻堂地区老人クラブ連合会		辻堂交流	
15	公募委員	石澤 知子	公募委員		辻堂交流	
16	公募委員	白井 洸子	公募委員		くらし安心・安全	
17	公募委員	横川 敬久	公募委員		辻堂交流	
18	公募委員	森外 葉子	公募委員		辻堂交流	○
19	公募委員	木幡 元	公募委員	部会長	辻堂交流	
20	公募委員	村瀬 旨博	公募委員		辻堂交流	
21	公募委員	関岡 壽夫	公募委員	副会長	辻堂交流	
22	公募委員	吉田 秀樹	公募委員	委員会長	辻堂交流	○
23	公募委員	尾崎 文彦	公募委員	会長	－	○
24	公募委員	保坂 真美	公募委員		くらし安心・安全	

第8回辻堂まちづくり会議報告

(開催日時) 2019年(令和元年)11月27日(木) 13:30~16:00

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 19人

(欠席者) 山田委員、小林委員、村瀬委員、石澤委員、近藤委員、木幡委員

(傍聴者) 2人

- (議題等)
- 1 辻堂地区全体集会について
 - 2 部会等からの報告について
 - 3 次期の辻堂まちづくり会議について
 - 4 その他

◎ 前回議事録の確認について

資料をもとに確認を行った。

◎ 公民館まつりについて

J-comでのニュース映像を閲覧。

来場者数 4,500人(昨年度は4,200人)

スタンプラリーについて

- ・参加者から、スタンプラリーの実施により、来場者増という報告があった。
- ・スタンプラリーの表示や景品等、改善点も挙げられたが、概ね好評であった。
- ・来年、再来年でこの場所での公民館まつりが最後となるが、最後には華々しくしたい。
- ・問題を簡単にしてしまうと、サークルと来場者との交流の機会が減ってしまう。難易度を落とさず、あらかじめ「ヒントください」等聞きに来る可能性がある旨を伝えておけば良いのではないか。
- ・今年度はギリギリの提案となってしまったので、来年度はもっと時間をかけて準備をしていくべき。

◎ 郷土づくり推進会議 地区交流会について

2019年11月21日(木) みなパークにて開催。

辻堂からは尾崎会長と伊藤委員が出席。

郷土づくり推進会議のあり方や事業報告、意見交換等を行った。

- ・郷土づくり推進会議のあり方は、事前アンケートをもとに作られた手引書に沿って実施された。
 - ・辻堂地区で行われた子ども回覧板について、「片瀬地区でも以前似たような事業を実施したが、長続きしなかったという経過があるため、続けてほしい」という意見があった。
- 片瀬地区は子ども会が中心となって実施したが、大人の協力が得られなかった。

1 辻堂地区全体集会について

吉田広報委員長から資料をもとに説明が行われた。

当日欠席：木幡委員、森外委員

展示物：安全マップ・子ども回覧板・自歩道の絵

活動報告発表者

交流部会：関岡委員　くらし安心・安全部会：石井委員　広報委員会：吉田委員

パネルディスカッション　司会：尾崎会長

ワークショップ　司会：吉田委員

【意見等】

- ・年齢層や順番は決まっているのか。
- 来るのは保護者や大人たちが来ることを想定している。来た順番で番号を付けていく。子どもが来ても良い。
- ・席替え時、身体的に動くのは難しいときは配慮出来るのか。
- そのような方がいた場合は、動かなくても良いようにする。
- ・今回集まったテーマを生かしていく場は考えているのか。
- 全体集会終了後、様々に挙がってきたテーマをカテゴライズして、会議内で出来ることや、市へ提案すべきことなどを整理し、今後会議内で提案していく。
- ・新しいアイデアの具体的な生かし方を予め考えておいた方が良いのでは。
- ・話し合い内容について、記録はとらないのか。
- 休憩時に紙を配り、メモ等で使ってもらい、最後に回収する。
- ・3つのテーマで絞らず、それぞれのグループで別の3つのテーマを議論すれば、様々な議論が出来るのではないか。
- 今は3つのテーマの議論をする予定だが、グループ毎にテーマを分ける等は検討する。
- ・今回の全体集会で出たアイデアをどのように還元していくのか。
- 今後検討していきたい。

2 部会等からの報告について

広報委員会：資料のとおり報告が行われた。（事務局）

辻堂交流部会：資料のとおり報告が行われた。（関岡委員）

- ・1月第3週の木曜日にSST朝市を実施予定。
 - ・自歩道愛称の回覧はいつ回るのか。
 - 12月10日号回覧で周知予定。
 - ・辻堂駅から海浜公園への道も名前プレートがあるが、低くて皆見ていない。自歩道で作成するときは目立つようにしたい。
- くらし安心・安全部会：資料のとおり報告が行われた。（石井部会長）
- ・グリーン回廊ウォーキングについて、公民館と協議の結果3月7日（土）を予定している。コース等については決定後周知する。

3 次期の辻堂まちづくり会議について

事務局から資料に沿って説明を行った。

【意見等】

- ・辻堂地区社会福祉協議会から委員が出ているが、その上部組織である藤沢市社会福祉協議会から委員を出す意味はあるのか。
- 実際はCSWの北野さんの参加を見越しての表現となっている。
- ・協議体をまちづくり会議に吸収したいという意図が読めるが、そのことを事務局主導で行っ

てしまうのは乱暴ではないか。

→両組織の目的が近いので、2つに分けず1つの組織として運営したほうが良いと思い、事務局から提案させていただいた。そのことを含め議論をしていただきたい。

- ・協議体を取り入れたいのであれば、協議体から委員を1人募集すればよいのではないか。
- ・辻堂地区のまちづくり会議なので、藤沢市社会福祉協議会という記載を入れるのはやめた方がよいのではないか。

→次回の全体会議で最終的な考えを示し、そこで組織体制を確定して、要領改正をしたい。

4 その他

今後の事業について事務局から説明を行った。

(1) みんなで美化キャンペーン 参加者

2019年11月29日(金) 辻堂自歩道

2019年12月21日(土) ポケットパーク

(2) 防犯・交通街頭キャンペーン

(3) 子どもの見守りについての情報交換会

以 上

◎今後の予定

- 下記のとおり、全体会議・部会等を開催すること決定した。

会議名：第9回辻堂まちづくり会議 全体会議

日 時：12月19日(木) 午後1時30分～午後3時30分頃

場 所：辻堂市民センター 第1談話室

議 題：各部会からの報告 等

会議名：辻堂交流部会

日 時：12月12日(木) 午後2時～午後4時頃

場 所：辻堂市民センター 第2談話室

議 題：事業の検討 等

会議名：くらし安心・安全部会

日 時：12月5日(木) 午後1時30分～午後3時30分頃

場 所：辻堂市民センター 第1談話室

議 題：事業の検討 等

会議名：広報委員会

日 時：12月5日（木）午前9時30分～午前11時30分頃
場 所：辻堂市民センター 第1談話室
議 題：事業の検討 等

以 上

辻堂まちづくり会議
地区全体集会報告

(開催日時) 2019年(令和元年)12月7日(土)

9:30~12:20

(開催場所) 辻堂市民センター ホール

(参加者) 72人

内 訳

一般参加者	36人
パネラー	4人
おまめ隊	7人
まちづくり会議	18人
事務局	6人
小野副市長	1人

- 1 開会 おまめ隊による開会宣言
 - 2 主催者あいさつ
辻堂まちづくり会議 尾崎会長
 - 3 委員の紹介
当日出席の各委員紹介
 - 4 辻堂まちづくり会議の活動報告
広報委員会
→吉田委員長より活動報告を実施
くらし安心・安全部会
→石井部会長より活動報告を実施
辻堂交流部会
→関岡副会長より活動報告を実施
- ※ 時間が押していたため、質疑応答は省略
- 5 パネルディスカッション「辻堂の子どもたちの未来」
・パネリスト
遊びりパーク リノア
&MAMACO 代表理事
副理事
高浜地域子ども支援会議 会長
横川 敬久 氏
前川 知佳 氏
根上 貴子 氏
今福 美佐子 氏

藤沢市社会福祉協議会 C S W 北野 範之 氏
 ・コーディネーター
 辻堂まちづくり会議 会長 尾崎 文彦 氏

<自己紹介>

遊びリパーク リノア 横川氏 リノアは医療ケアや車椅子が必要な、子どもたちの遊び場です。また、まちづくり会議の委員としても活動しています。 障がいのある子どもは一般の子と遊ぶ機会が少ない。そのため、リノアは障がいのある子も来るが、一般の親子も遊びに来れる施設になっている。障がいの有無にかかわらず、お互いに関心を持って遊べるようになっている。
一般社団法人&MAMACO 代表理事 前川氏 副理事 根上氏 「&」とは様々な個人・団体と共に歩んでいきたい、「MAMACO」とはお母さんと子どもという意味があります。 &MAMACOは、女性が働きやすい社会・子育てがしやすい社会を目指しています。その中で4つの柱を立てています。「1 女性活躍支援」「2 子育て・教育」「3 地域活性」「4 社会貢献活動」の4つを柱に様々な事業を行っています。
高浜地域子ども支援会議 会長 今福氏 高浜地域子ども支援会議は、学校・家庭・地域の三者からなる「三者連携ふじさわ」の中の一つとして、高浜中学校区を中心に活動しています。学校の先生やPTA、青少協や民生委員児童委員等が委員となっています。 今年度は、子どもフェスティバルへの出店や、高浜地域ふれあいコンサート、ポッチャ体験会等を行っています。
C S W 北野氏 藤沢市社会福祉協議会で辻堂地区のC S Wをやっている。C S Wは市内11地区で藤沢市の委託を受け活動している、地域の困りごとに対する相談員です。 地域には様々な相談窓口があり、どこに相談していいかわからない事があるが、どんなことでも相談できる窓口として、活動している。

・趣旨説明 尾崎会長

辻堂公民館まつりの際に、子どもたちに辻堂のまちについてのアンケートを実施した。結果として、ほとんどの子どもたちは辻堂が好きという結果がでた。しかし、そのうち将来も辻堂に住みたいかという質問に対しては、少し数字が落ちる結果となっている。

そのような現状も踏まえ、子どもたちが住みやすいまちについて、話し合っていきたいです。

<パネルディスカッション>

発言者	内 容
質問 尾崎会長	本日は子どもがテーマになっていますが、皆さんが考える現状の課題と、その課題に対する今後の取り組みについて教えてください

	さい。
リノア 横川氏	今後5年・10年後には、障がいのある方々はより社会に出てくると思われる。現に茅ヶ崎市では知的障がいのある子どもが他の子と同じように学校に通うという取り組みを行っている学校もある。社会的にも障がい者雇用率という言葉もあるように、積極的な採用が取り組まれている。 その際、大人になってから初めて障がい者と関わるのではなく、小さいころから遊びの中で、障がいのある子と関わる機会を作っていきたいと考えている。
&MAMACO 前川氏 根上氏	4つの柱のうち「地域活性化」「子育て支援」という観点から、「子育てフェスタ」を開催している。その一つの理由として、不登校問題を考えている。ここ数年、小中学生を中心に不登校という問題が出てきている。今までは「不登校＝学校が悪い(いじめ)」というイメージがあったが、現実には「無気力」等が理由となっている。将来の夢がない子ども等が増えてきている。 そこで「キッズお仕事体験」というイベントを実施し、少しでも将来やりたい仕事等を見つけてほしいと思っている。また、不登校の場合も、必ずしも学校に行かなければいけないわけではなく、家の中で何が出来るかを見つけてもらいたいと考えている。 もう一つの問題として、母親が一人で子育てをしている家庭が多いということ。夫や周りが忙しく、子育てが出来ないため、母親に負担がかかってしまうという現状がある。 そのような家庭が増えてしまうと、母親による虐待につながってしまう等の問題も発生してしまう。また、子どもと二人きりの時間が多くなり、悩みをもってしまう母親も増えている。この現状を一人でも多くの人に知ってもらいたいと思い、活動をしている。
高浜地域子ども 支援会議 今福氏	数名で集まり、道路の片隅で携帯ゲームをしている子ども等も増えてきている。この先、SNS等により顔も知らない人たちとつながっていく子どもが増えてくるのではないかと考えている。 そこで私たちは、人と人が顔を見合わせる大切さを子どもに教えていこうと思っています。そのためには、先ずあいさつを行うこと。それにより、相手の気持ちがわかる心を育てていきたいと考えています。学校・家庭・地域で顔が見える関係を作り、あいさつを交わすことができる地域を作っていきたい。
CSW 北野氏	辻堂地区は、子どもに関する相談が他地区と比べ非常に少ない。これは、辻堂地区は明るくいい街というイメージがあるため、相談しにくく内に秘めてしまっている子どもが多いのではないかと考えている。

	そのような子どもたちが相談しやすい場所づくり、環境づくりを意識して、CSWの活動を行っていきたい。 別地区の事例だが、母親が亡くなり、一人暮らしになった高校生がいた。その子は、隣人や地域の方々の協力により、卒業までその地域で暮らすことが出来、卒業後親戚のいるところへ行った。辻堂地区は転入者が多い地区だが、そのような温かい地区にしていきたいと思っている。
質問 尾崎会長	地域の子育てについて、それぞれの目線で、地域の方々にどのように参加してほしいか、関わってほしいか教えてください。
横川氏	子どもにあいさつをなささいという前に、大人同士があいさつしていないのではないかと、思っている。まずは自分たちからあいさつをしないと、子どもたちはあいさつしない。 ただし、大人が先にあいさつをしてしまうと、子どもたちはつられてしまうので、一緒にあいさつすることを心掛けてほしい。
前川氏	今の子どもたちは、周りの大人や同学年の子どもたちにも気を使っている。客観的には「良い子」だが、もっと喧嘩などの「コミュニケーション」を取ってほしいと思っている。 地域の方々も、子どもとコミュニケーションをとってほしい。
根上氏	いまの子どもたちは、居場所がない子どもが多いので、居場所を作ってあげてほしい。
今福氏	辻堂は明るいまちなので、それに似合う笑顔が多い子どもが増えてほしいです。
尾崎会長	三者連携は、学校・家庭・地域の三者だが、家庭の部分は参加協力をしにくい現状がある。本日来ている今福氏の顔を覚えて、三者連携事業にも積極的に参加してほしい。
北野氏	引きこもりや不登校の子どもたちの一番の問題は地域との関わりが薄くなってしまうこと。ぜひそのような子がいたら、CSWに相談していただきたい。そうしていただければ、学校に行かなくても地域と関われるきっかけを作ってあげることができる。
尾崎会長	母親だけでなく、父親や地域も家庭・子育てに参加できるようになるためには、どのようにしていけばよいと思いますか。
横川氏	周りに助けてもらう・周りを助けるというのが重要である。自分の弱さを見せることで、周りが助けてくれると思うので、自分をもっと出していくことが大事だと思う。
前川氏	コミュニケーションを取り合うことが重要だと思う。女性の考える子育てと男性が考える子育ては差異があるため、そこを埋めるためにコミュニケーションを積極的にとってほしい。
今福氏	家庭内のみの子育てとなってしまうがちなので、隣人や地域の

	方々とのコミュニケーションを多く取ってほしい。
北野氏	地域のことや人に対し、しっかりとアンテナを張ることだと思う。日本人は「助けて」という声をあげる人が少ない。それに対し、アンテナを伸ばして気にかけてほしい。

<質問・意見>

◎子どもの目線を持てている大人が少ないのではないかな。子どもが外でゲームをするのがおかしい、という目線でなく、子どもたちの文化などを理解してあげることが大切だと思う。

あいさつを返してくれない・楽しんでいない大人を見てしまうと、地域への愛着がなくなってしまう。その結果として、子どもが大人をみて、ここで暮らしたい、と思う子どもが少なくなるのではないかな。

例えば、外に出てあいさつするだけでなく、「なぞなぞが書かれた板」をもって立つ等、お互い対話が生まれる仕組みを作ればよいのではないかな。

大人が考える美化キャンペーン等に子どもを参加させるのではなく、子どもが何をしたいか、何が必要かをリサーチして、事業を行う必要があると思う。

◎保育の仕事をしているが、障がいのある子どもと触れ合うことがない。障がいがある人がいるということをどのような言葉で説明すれば良いのか。

→ 大人から教えるのではなく、子ども自身に「少し違うところがある人がいる」ということを気付いてもらうことが重要である。そのため、攻撃的な行動がない限りは特別何かをする必要はないのではないかな。

<7分間休憩 ワークショップの形に椅子を移動>

6 ワークショップ「辻堂の子どもたちの未来 ～今、私たちにできること～」

・吉田委員から進行説明

それぞれにまちづくり委員・パネラーを加えた8つのグループに分かれる。

3人一組で10つのテーマから1つ選び、7分間意見交換を行う。グループ内でメンバーを入れ替えながら3回繰り返す。

<各グループで自己紹介>

<ワークショップ実施>

<意見・感想等>

・交通安全対策について:辻堂地区は歩道が狭い箇所が多い。そこで対面からすれ違い、譲り合う際に、一言「ありがとうございました。」というようにしてる。そうすることで、

お互い顔を見て対話することができる。

- ・子どもの居場所について：子どもを預かる施設はあるが、子どもが行きたがらない。施設内の行動等に対して多く規制をしているので、子どもが息苦しくなっている。しかし施設側からすると、何かあったときのために、規制をしなければならない。結果として、地域から子どもが離れていってしまっている。

- ・子どもたちの意見を聞き、やりたいことを吸い上げて実施していくべき。公共施設や児童館等に自由な落書きスペース等を作ってあげて、子どもの自由な意見を書いてもらう等してもよいのではないか。

7 閉会

辻堂まちづくり会議 小川副会長

以 上

令和元年度 辻堂地区全体集会アンケート集計結果

開催日 2019年(令和元年)12月7日(土)9時30分～12時10分

会場 辻堂市民センター 1階 ホール

参加者数 72 人

アンケート回収枚数 42 枚 回収率(%) 58.3%

1 辻堂地区全体集会は毎年開催していますが、過去に参加したことはありますか。

ある	13	31.0%
ない	21	50.0%
未回答	8	19.0%

一般	36
まちづくり	18
パネラー	4
おまめ隊	7
小野副市長	1
事務局	6

72

2 今日の全体集会は何で知りましたか。(重複回答あり)

地区の回覧	9	21.4%
ホームページ	1	2.4%
知人などからの紹介	4	9.5%
団体からの紹介	12	28.6%
チラシを見て	1	2.4%
その他	9	21.4%
未回答	9	21.4%

3 全体集会について

3-1 「辻堂まちづくり会議」を知っていましたか。

よく知っていた	8
知っていた	11
聞いたことがあった	7
知らなかった	8
未回答	8

3-2 「辻堂まちづくり会議」の活動について理解がいただけましたか。

よく理解できた	13	31.0%
理解できた	18	42.9%
少し理解できた	3	7.1%
理解できなかった	0	0.0%
未回答	7	16.7%

3-3 「パネルディスカッション」を聞いていかがでしたか。(複数回答有)

参考になった	14	33.3%
今後の活動や生活に生かせると思った	16	38.1%
新たな発見があった	13	31.0%
その他	0	0.0%
未回答	8	19.0%

3-4 「ワークショップ」に参加していかがでしたか。(複数回答有)

参考になった	27	64.3%
今後の活動や生活に生かせると思った	7	16.7%
新たな発見があった	6	14.3%
その他	2	4.8%
未回答	8	19.0%

3-5 今回全体集会に参加して、辻堂の子どもたちの未来は明るいと感じましたか。(複数回答有)

とても明るいと感じた	3	7.1%
明るいと感じた	18	42.9%
努力が必要だと感じた	15	35.7%
未回答	8	19.0%

令和元年度 辻堂地区全体集会アンケート集計結果

3-6 配布した資料はいかがでしたか。

(1)量について

丁度よい	27
足りない	6
多い	0
未回答	9

(2)内容について

わかりやすい	18
わかりにくい	3
その他	2
未回答	17

3-7 全体集会に参加したきっかけを教えてください。。(複数回答有)

テーマに興味があったから	18
知人が参加するから	2
知人に誘われたから	3
地域活動に関わりたかったから	9
その他	5
未回答	11

年代		
10代	1	1.4%
20代	2	2.8%
30代	3	4.2%
40代	7	9.9%
50代	6	8.5%
60代	7	9.9%
70代	7	9.9%
80代以上	1	1.4%
不明	8	11.3%

住んでいる地域	
辻堂	13
辻堂元町	6
辻堂太平台	2
辻堂西海岸	5
辻堂東海岸	3
辻堂新町	0
その他	4
不明	9

3-8 地区全体集会でとりあげてほしいテーマがありましたらご記入ください。

子どもの居場所について。

乳幼児期の子どもについて。

図書館や市民図書室をもっと子どもたちが活用するアイデア。

住みたいまちづくり。

大人も子どもも本気で遊ぼう(大人が遊ぶ姿を見て、子どもも共に楽しむ)。

中学生の生活実態。

子ども回覧板作りのメンバーが参加したことは良かったが、もっと多くの子ども達を招いて意見交換会をしたらどうか。

素晴らしい活動をしている方々の活動報告に関心しました。

4 その他「辻堂まちづくり会議」にご意見がありましたらお書きください。

とても良い会議でした。ありがとうございました。

行事が子どもだけあるいは高齢者だけが多い。内容ややり方を工夫して両者が集まれば交流が進むのでは。

防犯、声かけの強化、海のソラウエー

ご苦労様です。活発に進めてください。しっかりテーマを決めて。

ワークショップまた参加したいです。

駅コンコースの掲示板は楽しみにしています。

今後も宜しくお願い致します。(もっと地域の家族に参加してほしい。)

とても活気があって良かったです。

工夫がみられてよい会議でした。子ども達が活躍する場があるのですばらしい。おまめ隊の紹介があったらよかった。

現在ボランティア等で活動活躍している中心は、高齢の方々なので、若い人にもつなげてほしい。

私も初参加ですが、参加者が少ないのにガッカリ！ビックリ！しました。何かできることがあればと思います。

	年代	居住エリア	コメント	課題分類
1	未記入	未記入	大人がいじめに対してのルールを作るのでなく、子どもたちでルール作りなどをしてはどうか。	4
2			居場所が多いにこしたことはないが、そこを利用される方々へ「何らかの理由があって参加しにくい人達がいる」ことを知ってほしい。	8
2	40代	辻堂東海岸	無気力な子が多い中、どのように関わるか課題。	6
4			子どもがホッとできるところを作って行くこと。	8
5			いじめ	4
3	50代	辻堂	2,3は同じ問題。困窮を解決しなければ、学力、体力も育たない。辻堂地区はあまりそのような困りごととは少ない地域です。だからこそ、レアケースがあるとノウハウが少なく相談に至ることは難しいかも子どもがいる場所が多い。ただ広すぎて目が届くか。保育園の屋外散歩では安全な場に行くまでか、車など危険があるという意見が出た。安全路の確保が必要と思いました。	2
7			どうやって防いでいけばよいかわからない。子供の成長の過程で親から離れていくか、ネットで繋がっていく社会を教えること、伝えることは難しい。子どもの本当の悩み、姿をどう察知できるのか。子どもを守る社会であってほしい。	8
4	70代以上	辻堂	中・高生の居場所が必要ではないか！	7
5	60代	辻堂元町	習い事が多すぎる。	8
11			街区域が暗い感じ。	3
12			不登校	9
6	60代	辻堂東海岸	親の経済力→経済的不安→適切な学習が受けられない→学習環境が整ってない→子どもの学力低下。いくつかのテーマは独立してなくて、繋がっていると思います。困っている家庭にどう支援していくのか。	6
14			子どもは家の外へ！どこに行けばいいの？公園は大きな声は出せない。野球、サッカーはできない。ゲーム機持参で外で座っている。果たしてこれが外遊びとなるのか？	8
7	20代	辻堂	子どもの安全な居場所は少ない。	8
8	70代以上	辻堂	遊べる所が少ない。児童館は規則が多いので行きたがらない。昔のような「広場」がなくなった。公園でボール遊びができない。子どもの声を聞く機会。フリースペース「落書き版」	8
9	40代	辻堂	各家庭のルールを話し合う（コミュニケーション）。スマホを持たせるのは親の責任。渡すにはルールを決める。	7
18			1クラスの人数が多すぎるため、先生1人＝40人は見きれていない。少人数で行ったほうが良いのではないか。	3
10	未記入	未記入	外へ出る。「江の島トレジャー版」を。歴史巡り。安全な海浜公園内で考えてみる。	8
11	40代	辻堂元町	子どもと大人と一緒に考える機会があると良いと思います。（子どもが大人に何を求めているのか。子どもはどう考えているのか。大人も子どもの意見を聞くことができると良いと思います。	12
21			交通安全上、防犯上（暗いなど）含めて、どここの道が怖い。	10
12	70代以上	辻堂元町	親が子どもにも向ける時間がない。子どもの体力がないので、手で支えられないので、顔で受ける。特に0～6歳児は食べ物と生活のリズムが大事で体力向上に繋がるのでは。	3

	年代	居住エリア	コメント	課題分類
23			子どもの居場所が家にもない。食事も提供されない→子ども食堂。公園でも規制がある。外で遊びやスポーツをしたくても場所がないので、外にいてもゲームをする子どもが多い。	8
24			SNSの事件が多いが防ぎようがない。子どもは親に見せなくても、友達には話せる。親がキヤッチするのは難しい。	7
13	60代	辻堂東海岸	少人数制の導入が必要。学校での授業に興味を持てるように工夫する。	3
26			家庭のルールを決めて守らせる。厳しすぎず、でもダメなことはダメという。	7
14	30代	その他	保護者は自己否定からはいはいる。どんな人でも良い、悩みを話す、話せる人がいることが大事。	6
28			じゃけんおじさんがいるらしい。楽しそう。学校の見守隊がいることは子どもにとっての安心に繋がる。「このおじさんがいるところまで走ろう！」危ない時頼れる大人がいる。	9
15	50代	辻堂太平台	心配→援助を拒む→壁を感じる→支援の仕方を悩む。	1
30			ボール・サッカー・野球	8
31			SNSの怖さ。	7
16	20代	辻堂	辻堂団地の公園が使えない（管理の問題？）。海浜公園がいろんな年代の子どもが遊べて便利。子育て支援施設が多い。情報交換の場。新しくできる公民館に子ども達がメッセージを書けるホワイトボード（伝言板）を設置する。	8
33			道ですれ違ふ時は「すみません」でなく「ありがとう」のほうが気持ち良い。	10
34			障がいを持った子どもが遊べる場所が少ない。子ども達もどうかかわらない→障がいを持った子どもが孤立していく。	4
17	70代以上	辻堂元町	辻堂に将来とも住みたいかどうかという質問に対し他の質問に対してyesが少ないと感じられた人があったとおもいますが、何も心配はいらない”辻堂をふるさとと感じている”が100%なることが理想。世界中で大いに活躍して、どこに住んでも”ふるさと”とかんじられるような街でありたい。	12
18	50代	辻堂元町	子ども達に、自分たちのこと、自分たちで考え意見を聞く。（子どものワークシヨップ。大人と子どもとのワークシヨップの開催。）	12
19	30代	未記入	「やりたい」と思う心を育てる。「やりたい」ことができる体の土台作りをするのが乳幼児期。「乳幼児期の子ども達についての話し合いの場があると良いなと思いました。	3
38			駅から海浜公園までの通りの横断歩道は信号機がほしい。ガードレールがほしい。→公園や広場は辻堂に多いと思うが、そこへ行く道のりが危険なため、連れていき様々な経験をさせてあげる機会が減っている。	10
20	50代	辻堂元町	たくさん読書をするのが大事。いじめ、ひきこもり、不登校など、すぐの解決方法ではないが、人の思考力を上げることが、いろいろなトラブルを内側からなくすことだと思う。	3
40			辻堂発で、読書推進の非営利法人を設立しました。読Q（www.dok9.org）です。ぜひ地域でも読書推進をしたいと思います。	12
21			あいさつを広める運動をしていく。まずは自分から。	12
42	50代	その他	子ども達が安全に遊べる見守りスペースを多く作っていく。	8
43			困っている親がいたら気軽に相談する場。	12

	年代	居住エリア	コメント	課題分類
22	44	辻堂西海岸	虐待に対しての定義が変わってきている。正座をさせるのは×。昔は○だった。学んでいかないといいない。	1
23	45	辻堂西海岸	小・中学生の英語教育問題。学校が好きかどうか。	3
	46		子ども達の読書に関して。	3
	47		男子高齢単身者問題。	12
24	48	辻堂	団地の公園の解放。障がい者とかかわりが必要。海浜公園はとても良い。良いところ、施設が多いと思う。	8
	49		不登校にはネットの情報も有効。大事。話を聞いてあげるところが必要。	6
	50		叱ると怒るは違う。何事にも相談できる場、相談を受けられる環境。	1
	51		歩道でのあいさつをありがとうにする。	12
	52		施設利用を子どもが行きたがらない→管理者がこわい。安全面の配慮。	8
	53		子どもの意見、思いを聞く。掲示板、メッセンジの設置。	12
25	54	辻堂西海岸	ルール違反を知らずに自転車が出している例が多いから、それを知らせるチラシや掲示を長く活動して欲しい。	10
	55		その辺で大きな声をよく聞くという、声を届けられる。そこへ、そのことで来たとはわからないように訪問して状況把握もやってみる。ただ、根本原因までわからないかも。対策も難しい。	1
	56		子どもにそんなこと気にしないとは言えない。我々の若い頃とは質が違っただろうから。	4
26	57	辻堂	防犯強化。地域の大人にできること。大人への啓発が重要と感じた。	9
	58		地域の特性。海へのリテラシー（津波・離岸流）向上。	11
27	59	辻堂	親不在時は友達を入れない。おとなのコミュニケーション不足。町内への転入者とコミュニケーションがとりづらい。注意（規則）マニュアルが多い。管理責任逃れ。クイズでときあう。	8
28	60	辻堂	常におとながアンテナを張る→毎日同じ服を着ていないか。違和感がないか。等	12
	61		経済格差で能力の差を出さないよう、公的なサポートを増やす。	3
	62		まず、ひきこもりを否定しない。解決方法はいろいろあると思う。家族の余裕もできるようにサポートする。	5
29	63	辻堂	マナーを知らない若い保護者が多い。（自転車など）どう教育したらよいか。	12
30	64	辻堂元町	江の島トレジャーに行きたい子どもが多いが、遠いこと、親がついていけないなかなか参加できない子どもも多い。子どもはゲームが好き、なぞなぞも好き。まちづくりで行っている、ウォーキングの範囲を地区ごとに分け、辻堂の歴史問題などを出題し、みんなですべてで遊ぶきっかけを作してほしい。	8
31	65	その他	子ども達の声をもっと聞く。（子ども伝言板を設置する）	12
32	66	辻堂西海岸	OK前を通る自転車に対してルール集を配布するなど周知する方法を考えてほしい。子どもも見ているので、ルール破りはみっともない。	10
	67		子どもたちの意見を吸い上げる場を公民館などが検討してほしい。現在は大人の押し付けに見える。子ども目線に立つことが大事と感じた。	8
33	68	辻堂太平台	子どもたちの未来のために、まずは隣近所知り合うこと、地域の一員として皆で子どもたちを見守ることが必要だと思いました。今日参加した若い家族の方、声をかけられれば参加する、そういう機会をもつ少し身近に、回数が増えればいいなと思いました。	12

	年代	居住エリア	コメント	課題分類
	69		興味はあるけど時間がない→同年代の家族との出会い。若い家族の集まりの場を。小さいことから始める。	12
34	70	辻堂	ウエブで読書を推進している方（神部さん）根本的に減っている。読むことに慣れる。読む量の競争。中身を読んだ証明	3
	71		英語ってどういったものなのか。	3
	72		ルール共有。厳しいわけではなく、周りと比べて厳しいと感じて、少し窮屈に感じてしまう。	7

2019 年度辻堂地区全体集会 来年度に向けて

1. 全体集会において

①活動報告

- ・各部会報告において、持ち時間（8分）をオーバーしてしまい、質疑応答の時間を取ることができなかった。
- ・ここ2年はワークショップを中心に全体集会を行ってきた。委員と参加者とのふれあいを大切にした情報交換は一定の成果を得ていると感じているが、一方で、時間等の関係から、まちづくり会議の事業説明及びその事業に対する意見交換は不十分と感じているがどうか。

②パネルディスカッション

- ・内容的には非常に良かったが、時間が短く、時間に追われる感じがあった。もっと話を聞きたい方もいたのではないかな。
- ・次のワークショップの動機付けに有効であったと思うがどうか。

③ワークショップ

- ・活動報告の時間が伸びたことから、参加者の発表の時間を一部カットした。
- ・参加人数の関係で、各グループに委員等が2名入る等、当初予定していたやり方は多少崩れてしまったが、委員等のリードにより活発な意見交換ができていたのではないかな。
- ・会話を進めるために予めテーマを設定したが、効果はあったか。
- ・1対1（もしくは3人）での話し合いは、どうだったか。

2. 運営全般

①事前準備

- ・全体会議で具体的なテーマ及び進行方法について十分な議論及び事前説明ができなかった。来年度は8月の全体会議からテーマ等について議論を開始してはどうか。また、テーマを設定する場合は、事前に会長、副会長、部会長等で案を作成した上で、議論するなどの工夫も必要ではないか。

②全体集会の運営時間

- ・集会の時間を通常より30分長い2時間30分とし、開始時間を30分早めたが、参加者の反応はどうだったか。
- ・参加したいと思った人が参加しやすい（テーマに沿った）曜日・時間になっていたか。

③参加状況について

- ・参加者は36名と少なかった。（声かけ不足か？）
- ・ある程度集客するためには、何らかの計画、行動が必要と考える。例えば、テーマに関連する関係団体には積極的に参加（動員）をお願いするなどの工夫が必要ではないか。
- ・参加人数の少なさは、辻堂まちづくり会議の浸透度（興味）の低さの現れと考えるがどうか。
- ・今後はまちづくり会議も含め、地域域活動への積極的な参加、あるいは気軽な参加を促す工夫（運動）が必要と考えるがどうか。

以 上

令和元年度 第9回 辻堂まちづくり会議 広報委員会 次第

日 時：2019年12月 5日（木）9：30～

会 場：辻堂市民センター 第1 談話室

*パソコンとプロジェクター準備すること

議 題

1 12/7地区全体集会について

(1) 全体の流れの確認

12月7日（土）8時30分集合

(2) 広報委員会説明内容の確認（パワーポイント確認）

2 まちづくり会議だよりについて

(1) 仕様書および納品までのスケジュール

(2) 紙面

3 インタビューについて

(1) 12月実施予定

辻堂海岸団地自治会・辻堂西海岸町内会・富士見ヶ丘自治会

(2) 今後の方向性について

3月までは自治会・町内会を対象に実施していくが、来年度以降について1月以降検討していく。（アポの取り方や議事録を含めて）

4 子ども回覧板について

東海岸2丁目町内会にはアンケートを依頼中

1月の広報委員会で内容確認の上、今後の方向性や企画内容を検討していく

5 その他

次回広報委員会2020年 1月16日（木）9：30～

12月全体会議 2019年12月19日（木）13：30～15：30

1月全体会議 2020年1月23日（木）13：30～15：30

★地区賀詞交歓会★ 2020年1月9日（木）18：00～21：00

(開催日時) 2019 年 (令和元年) 12 月 5 日 (木) 9:30~11:00
(開催場所) 辻堂市民センター 第 1 談話室
(出席者) 吉田委員、伊藤委員、森外委員、鷹野委員、
事務局 日原主幹、磯崎補佐、宮木

【議事結果】 別添次第に沿って進行した。

<議題>

1 12/7地区全体集会について

(1) 全体の流れの確認 12月7日(土) 8時30分集合

・**テーマを3から10に変更した。**

・**ワークショップの進め方の資料を配布し説明する。**

(2) 広報委員会説明内容の確認 (パワーポイント確認)

・**駅前掲示板の写真も入れる。**

2 まちづくり会議だよりについて

(1) 仕様書および納品までのスケジュール

・**資料のとおり。**

(2) 紙面

・**まちづくり会議の説明が横長で、各部会の説明が下3つに記入したものに決定。**

3 インタビューについて

(1) 12月実施予定

辻堂海岸団地自治会・辻堂西海岸町内会・富士見ヶ丘自治会

・**事務局で日程調整をする。**

(2) 今後の方向性について

3月までは自治会・町内会を対象に実施していくが、来年度以降について1月以降検討していく。(アポの取り方や議事録を含めて)

・**来年度の事業について3月末までに決定し、来年度委員に引き継げるようにする。**

4 子ども回覧板について

東海岸2丁目町内会にはアンケートを依頼中

1月の広報委員会で内容確認の上、今後の方向性や企画内容を検討していく

・**アンケートを回収し、反省等をふまえて今後のことを検討する。**

5 その他

・**他地区との交流については、全体会議で検討。**

第9回 くらし安心・安全部会 議事録

(開催日時) 2019年(令和元年)12月5日(木)

13:30～15:15

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 石井部会長、高橋委員、近藤委員、國弘委員、鷹野委員、岸委員、白井委員

〈議題〉

- 1 グリーン回廊ウォーキングについて
- 2 子どもの見守り事業 情報交換会について
- 3 認知症理解促進事業 ステップアップ研修について
- 4 全体集会について
- 5 その他

〈内容〉

- 1 グリーン回廊ウォーキングについて

部会として以下のとおり決定し、全体会議で提案することとなった。

2020年3月7日(土) 9時30分～ (予備日3月8日(日))

広報配布日時は公民館と相談し決定する。

ウォーキングコースについては、伊藤委員の提案したコースに決定した。

- 2 子どもの見守り事業 情報交換会について

前回同様のアンケートを実施中。アンケート結果を前回(2017年3月)と比較する形で作成し、当日資料とすることとなった。

当日の趣旨説明を石井部会長が実施。司会進行は本日欠席の小川委員にお願いすることになった。

【意見等】

- ・年に2回くらい、夏休みと冬休み等に開催していきたい。

→当日会議内で石井部会長に提案をしよう。

- ・今回は顔合わせとして、今後2年くらいのスパンで実施していくことを決めていけばよいのではないか。

- ・今回は各学校PTAにも声をかけているため、PTAが来れば前回より良い会議が出来るのではないか。

- ・今後はアンケートで「学校から地域にやってほしいこと」等を記入したほうが良いのではないか。

- ・辻堂小学校で実施した「安全マップ」作りのようなかわり方を、他の学校等でも出来たらよい。

3 認知症理解促進事業 ステップアップ研修内容について

研修内容は前回のものとは別のプログラムを作成可能である。そのため、一度受講したまちづくり委員も受講することができる。

- ・明和会では「認知症サポーター養成講座」を実施しており、そこから10人くらいステップアップ研修の枠を設ける。

- ・そのほか東西の民生委員に5人ずつ、計10人程枠を設ける。

→不足分が出たら都度民生委員に声をかけていく。

4 全体集会について

2019年12月7日（土） 9:30～12:00

テーマを10個書かれた紙を渡し、ペアで話の内容を決める方式になった旨を共有した。

各委員3人ずつ参加者を集めてもらうよう、改めて確認した。

5 その他

- ・街頭キャンペーン

2019年12月11日（水） 14:00～15:00 場所：辻堂駅南口交番前

- ・みんなで美化キャンペーンについて

2019年12月21日（土） 9:00～10:00（予定） 場所：ポケットパーク

【意見等】

- ・来年度以降だが、大学との交流が出来る事業を考えていったほうがよいのではないか。

【次回部会日程】 日時：2020年1月16日（木）13時30分～15時30分頃

会場：辻堂市民センター

以 上

辻堂グリーン回廊ウォーキング企画書

1. 目的

辻堂まちづくり会議にて策定をした、地区の名所・旧跡・自然環境を巡ることができる「辻堂グリーン回廊」について、ウォーキングをとおして周知を行う。

2. 主催

辻堂まちづくり会議

3. 協力

辻堂地区老人クラブ連合会、湘南ふじさわウォーキング協会、辻堂いきいきサポートセンター、辻堂公民館、藤沢市健康増進課

4. 対象

小学生以上 ※先着50名

5. 日時

2020年3月7日（土）（予備日 2020年3月8日（日））

受付9：30 出発10：00 解散12：00

6. 集合

辻堂市民センター ホール

7. 内容

湘南ふじさわウォーキング協会先導によるウォーキング

8. 広報

チラシ及び地区内回覧等 1月25日号広報で回覧

以 上

主催：辻堂まちづくり会議

65,000球の
スイセンとムスカリの花

甘い香いに誘われて 辻堂グリーン回廊を歩く

【集合・解散場所】辻堂市民センター

【日 時】3月7日(土) 予備日：3月8日(日)

集合9:30 解散12:00

開催日：3月7日(土)

【定 員】小学生以上50人(先着順) *親子参加大歓迎！

【内 容】辻堂市民センター～長久保公園～海浜公園～辻堂市民センター

【持ち物】飲み物・帽子・タオル 歩きやすい服装でご参加ください(約6Km)

【参加費】無料

【協 力】辻堂公民館

辻堂地区老人クラブ連合会

湘南ふじさわウォーキング協会

辻堂いきいきサポートセンター

健康増進課

辻堂グリーン回廊は、辻堂地区内の名所や自然環境を巡ることができ、健康増進にも繋がるみちです。辻堂地区のまちづくりに取り組む辻堂まちづくり会議で検討を進め、全長約10kmの基本となるルートを決めました。



◆申込み開始◆

2月●日(●)

9:00～17:00

受付申込み・問合せ

辻堂公民館

TEL:34-9151

一緒に
行こうよ！

辻堂グリーン回廊は、辻堂地区内の名所や自然環境を巡ることができ、健康増進にも繋がるみちです。辻堂地区のまちづくりに取り組む辻堂まちづくり会議で検討を進め、全長約10kmの基本となるルートを決めました。



令和元年度 第9回 辻堂交流部会 議事録

(開催日時) 2019年(令和元年)12月12日(木)

14:00～15:40

(開催場所) 辻堂市民センター 第2談話室

(出席者) 関岡委員、吉田秀委員、石澤委員、吉田紀委員、森外委員、保坂委員、

(欠席者) 5人

(傍聴者) 0人

(議題等) 1 みんなで美化キャンペーン@自歩道の結果について

2 辻堂歴史物語の開催について

3 オリンピック関連事業について

4 「湘南ニコニコロード」の看板について

5 公園の活用について(スケートボード)

6 交流の場(公園)の活用について

7 交流の場(市民の家)の活用について

〈議題〉

1 みんなで美化キャンペーン@自歩道の結果について

→事務局より内容説明を行った。

参加者は計47名であった。次回は12/21(土)にポケットパークにて美化キャンペーンが実施されるので、よろしくお願いしたい。

2 辻堂歴史物語の開催について

→事務局より内容説明を行った。

2/1(土)実施なので、12/25号の広報配布時にチラシ回覧を実施。

チラシについては、すでに櫻井氏より修正が来ているので、事務局で対応する。

3 オリンピック関連事業について

→事務局より内容説明を行った。

セーリング元日本代表の牧野幸雄さんの講演会を実施する学校として、高浜中学校に打診中。時期的には、入試が終わり様々な企画授業が実施される2月下旬～3月上旬がベストで、企画の内容を確認して検討したいとのこと。牧野さんには日程の候補を確認中。

高浜中学校での開催日程が決まったら、湘洋中学校にも同日の午後で実施の声掛けをする予定。

セキュリティの問題もあるので、一般市民の参加申し込みは行わず、あくまでも中学生を対象とし、地域の協議会の役員等には参加の声掛けをする予定。(学校側との調整必要)

4 「湘南ニコニコロード」の看板について

→事務局より内容説明を行った。

12/10にプレスリリースを配信したところ、神奈川新聞から電話取材を受けたので、掲

載される可能性がある。

今後看板を設置する予定なので、早めに方向性（場所・形状・デザイン等）を検討していきたい。2月頃に方向性を固めて、設置時期については、早くて夏頃を目指し進めていく予定。

看板の形状、デザインの作成方法等については、事務局で方向性案を何パターンかアイデアを提示する。

【意見等】

- ・中央には、立派な看板が設置できるとよいと思う。
- ・入口3か所にも設置したいが、例えば入口は簡易的なもので、中央にはボリュームのあるものがよいと思う。入口は、手作りで各学校の壁に設置してもらう等も検討できる。
- ・道路自体を使って（埋め込み等）、周知していく案もあるかと思う。
- ・完成した際には、市長、教育長等も呼んでセレモニーを実施したい。
- ・デザインについては、一般公募や各学校からの選出など、様々なやり方が考えられる。近隣小中学校の子どもたちを集めてワークショップを実施し、まちづくり委員と一緒に作成していく方法等もよいのでは。

5 公園の活用について（スケートボード）

→公園課からの回答について説明を行った。

辻堂南部公園が立っている土地は国有地であり、国から許可を得て借りている土地なので、変更等を行う場合には国の許可が必要となる。また、すでに利用している個人・団体等があるので、利用者の理解・同意が必要となり、管理事務所からも、他の利用者の安全を考慮すると設置は難しいとの回答をいただいている。公園課の考えとしては、近隣に鵠沼海浜公園スケートパークがあり、現在も利用率を高めるために整備を進めている。近くに新たに設置した場合、競合する可能性もあるので、前向きではない。

今回の回答を受けて、次回までにどのようにしていくのがよいかを各自考え、持ち寄ることとなった。

【意見等】

- ・要望書を出す際は、ニーズがあるのかは検証しなければならない。まちづくり会議としては、地域住民の声を聴いて動くのが本来の形である。

6 交流の場（公園）の活用について

桜花園自治会としては、一時避難場所と防災倉庫の設置を望んでいることもあり、地域の交流の場ではなく、防災広場として進めていくこととなった。まずは、桜花園自治会の自治会長に関岡委員から下話をし、桜花園自治会内で話をしてもらう。その後、自治会長に交流部会の会議に来てもらい、その結果をもとに意見交換をしていく。また、防災協の小川会長にも話をする。

【意見等】

- ・桜花園自治会としては、一時避難場所と防災倉庫の設置を望んでいるが、公園として活用したいとの声はあがっていないとのことだった。

- ・わかたけ保育園の保護者のニーズがあるかとのことについて、働く保護者は育児と家事で忙しく、なかなか活用する時間が取れないのも事実だと思う。

7 交流の場（市民の家）の活用について

辻堂市民の家の利用状況や利用者の声について、管理している秋山さんにヒアリングをする。

【意見等】

- ・辻堂市民の家の周りには、町内会館等があるので、町内会はそちらを使う。そのため利用率があがらないのも事実である。
- ・日本間ではなくフローリングで机・椅子が置いてあったほうが、高齢者がとしては利用しやすい。
- ・そもそも市民の家があることや、使い方を知らない人もいるから、それを広めていくことも重要である。市民の家の使い方をPRしていくやり方もある。

8 その他

- ・飛び出せ！辻堂インタビュー 12/25（水）10：00～ 吉田秀委員、森外委員が対応。
- ・忘年会は人数が集まらないので、新年会に変更する。
- ・朝市の件で、農協を訪問する日程は12/20（金）14：00～で現在調整してもらっている。

以 上

【次回部会日程】

日時：2020年(令和2年)1月16日(木)

14時00分～16時00分頃

会場：辻堂市民センター

**令和元年度（第３回）
みんなで美化キャンペーン事業の実施結果について**

１ 日時

２０１９年１１月２９日（金）１３：００～１４：５０・・・現地での準備・片付け含む
１３：１５～１４：３０・・・参加者の作業時間

12:30	センター出発（事務局）
13:00	作業準備及び受付
13:10	全体集合し、挨拶(関岡副会長)及び作業内容等説明
13:15	作業開始
14:20	状況を見ながら、終了の声かけ
14:30	全体集合し、終了挨拶(吉田紀行委員)及び参加者へ記念品等を渡す
14:40	片付け及び撤去
14:50	終了・解散

２ 場所

辻堂１号・２号自転車歩行者専用道路（＝「辻堂自歩道」）

３ 実施団体等

主催 辻堂まちづくり会議

協力 辻堂地区生活環境協議会、高浜地域子ども支援会議

湘南工科大学附属高校、高浜中学校、白浜養護学校、高砂小学校、浜見小学校

湘南辻堂海浜植物保護育成会

４ 参加者 ４７名（成人２３名、生徒２４名）

団体等	参加者	備考
辻堂まちづくり会議	５人	
辻堂地区生活環境協議会	２人	
高浜中学校	２９人	ラグビー部１２人、女子テニス部 １２人、先生５人
白浜養護学校	１人	
高砂小学校	１人	
浜見小学校	１人	
湘南辻堂海浜植物保護育成会	３人	
事務局	５人	
合計	４７人	

５ 活動内容

主に、路面清掃、街路樹柵及び植栽帯の除草並びに花苗の植え付けなど

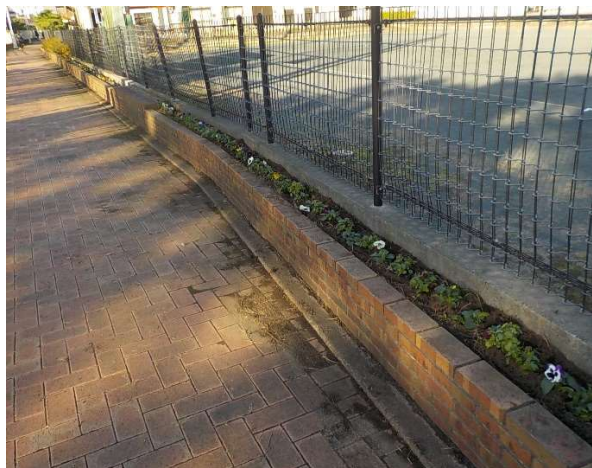
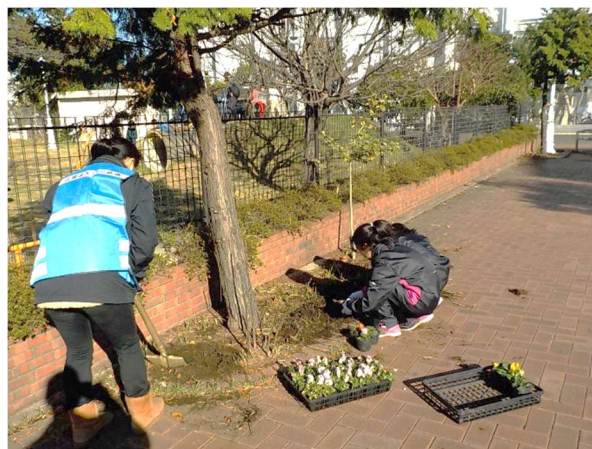
花苗の植え付け パンジー １０００株

集積量は可燃（４５Ｌ）ゴミ袋×約１０袋

6 備考

生活環境協議会にて、お茶(500mlペットボトル)を用意 48本

7 当日の様子



以 上

辻堂歴史物語 (第3回)

—明治時代から昭和（戦前）時代まで—

さくらいゆたか
郷土歴史家 櫻井 豊 氏に講演頂きます

『辻堂歴史物語』連続講演、
第1回「平家の落人伝説から後北条時代」
第2回「江戸時代」
第3回「明治時代から昭和（戦前）時代」
のうち、今回は第3回目の講演を開催します。
明治時代から昭和（戦前）時代にかけて、
辻堂はどのような集落であったか、
そして人々はどのように生活していたか、
主な出来事や伝承などをおりまぜて講演して
頂きます。



さくらい ゆたか
櫻井 豊 氏

昭和12年生辻堂元町在住
平成25年「辻堂歴史物語」出版、
辻堂市民図書館、JAさがみ、
みずほ銀行辻堂支店で講演

日 時 2020年2月1日（土）※入場無料

10:00～12:00（開場 9:30）※定員 100人

※定員を超えた場合、入場できないことがあります。

場 所 辻堂市民センターホール（当日・先着順）

藤沢市辻堂東海岸1丁目1番41号 ※駐車場はありません。

問合せ 辻堂市民センター 0466（34）8661

8:30～17:00（土・日・休日並びに12:00～13:00を除く）

まちづくり会議事業企画書

事業名	オリンピック関連事業 牧野幸雄氏によるオリンピック講演会
目的	2020年に東京オリンピックが開催され、江の島がセーリング競技会場となる中、オリンピックに対する意識を高めるとともに、セーリングについての知識・興味を持ってもらう。 また、辻堂地区の中学生を対象とし、オリンピック参加者による講演を行うことで、これからの人生にプラスとなる貴重な体験をしてもらう。
企画概要	セーリング日本代表として、北京・ロンドン・リオの3大会に出場した牧野幸雄氏をお呼びし、中学生を対象とした講演会を実施。 内容としては、次の通り ・オリンピック・パラリンピックとは ・セーリングについて知識を深める（セーリングは激しいスポーツ） ・夢に向かって努力することの大切さについて 等
対象者	高浜中学校の生徒（学年等は要調整）
参加人数	-
効果	オリンピックやセーリングについて、知識が深まるとともに、オリンピックに向けての気運が高まる。
実施日	2月下旬～3月上旬の平日（午前中）
スケジュール	12月 講師・学校との日程・会場調整等 1月 準備物、進行内容等の調整等 2月下旬～3月上旬 講演会実施
予算	講師謝礼（金額確認中）
その他	